

## 春は、季節をタイムトリップ

自然公園を管理する私たち東京都レンジャーは、日々山道を登ったり下ったりしています。

季節は麓から頂上へ少しずつ登っていくので、花の見頃も標高の高いところへ少しずつ移動していきます。朝は春本番のサクラが満開の麓から、登山道を登っていくとだんだん早春になり、お昼は緑が無い冬景色。午後下山してくると冬から一目散に春へ戻ってくる感じです。

この季節感、あなたも感じてみませんか。



桜が満開の御岳溪谷

雪が残る雲取山、春はまだ先。



## タケノコ泥棒

春と言えばタケノコが美味しい季節ですが、最近の自然公園周辺ではタケノコ泥棒が多く困っています。

犯人はニホンイノシシ。大きいものになると体重100kgを超すこともある大型哺乳類です。イノシシは土に穴を掘るのが得意で、しかも非常に嗅覚が発達しており、土の中にあるタケノコの食べごろが分かるらしく、人間より先に掘って食べてしまいます。

イノシシに入られた竹藪には、大きな穴と散乱したタケノコの皮が散らばるばかりです。

人里に近い山林では、ニホンイノシシが増えている印象です。鋭い牙を持っている危険な動物、もしも出会ったら刺激を与えないようにそっと後ずさりして立ち去りましょう。



## ミツバツツジ

多摩地方の春を彩る花と言えば「ミツバツツジ」でしょう。

秩父多摩甲斐国立公園の指定植物であるとともに、奥多摩町の花にも指定されています。

厳しい冬を耐えてきた山里に、早春のまだまだ緑の無い斜面を鮮やかなムラサキに彩るミツバツツジは、春を告げる花です。

ミツバツツジの花が咲き終わる頃、木々は一斉に芽吹いて新緑の季節がやってきます。



## 安全に登山を楽しめるように

東京都レンジャーが行っている登山道整備作業の1つに歩道の掻き均し作業があります。これは歩道の上に堆積した土砂を掻き、登山道の道幅を確保し、利用者が安全に通行できるようにする作業です。

毎年2月～3月になると、前年の落ち葉や冬の乾燥により斜面上から流れ落ちる土砂で登山道が覆われ、道幅が狭くなってきます。場所によっては登山道が消えるぐらいの量となり非常に危険です。今年は降雪量が少なかったこともあり、特に土砂の堆積が多かったように思えます。

東京都レンジャーではボランティアのサポートレンジャーの協力を得ながら陣馬尾根・石尾根・赤杭尾根などの土砂が堆積し通行に注意を要するようになった箇所での土砂掻き均し作業を行い、利用者が安全に通行できるようにしました。

自然公園を訪れた方々が安全に楽しめるよう取り組んでいます。



土砂が堆積した登山道



掻き均し作業を行うレンジャーとサポートレンジャー

## 足元の石にも注目してみよう

登山やハイキングで、いつも踏みしめて歩いている色々な道。そんな道々の足元にある石達を気にかけてながら歩いたことはありますか？

「大きさ」「模様」「色」など、石にも様々な顔があります。時には色々な石を鑑賞してみてもいいかもしれません。

石を鑑賞する時にはとても良い場所があります。それは大きな川の河原です。河原にはその川の流域に分布する石が、水の流れで山や丘陵地から運ばれて集まってくる。

ぜひ、多摩川や秋川の河原に出向いて、石を鑑賞してみましょう。模様だけでなく、石を作る粒の大きさや形、角張った石、全体の雰囲気などを鑑賞することで、きっと目くるめく世界の入り口が垣間みえることでしょう。

おや？、まえにどこかで見たような石を見つけましたか？ もしかしたら、むかしあなたが歩いたどこかから、流れ流れてやって来た石かもしれませんね。



## 東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
  2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
  3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
  4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

## 自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551